



★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新年のご挨拶

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

柳井市白壁の町並みを守る会

会長 木阪 泰之

皆様、新年あけましておめでとうござ
います。平素より当会へのご理解ご協
力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年、古市・金屋地区が昭和59年に
全国で20番目の重要伝統的建造物群保存
地区として選定され40周年を迎えます。
この節目の年に関われることを誇りに思
いながらも、その重責を感じています。
現在、秋口にささやかながらも節目の
行事を挙行すべく関係者の皆様との調整
を行っております。

私たちはこれから一層の繁栄と発展を
目指し、柳井市の貴重な文化遺産を守り
続けていくことが求められています。先
人たちが築いてきた柳井の歴史や伝統
を、次代に引き継ぐことは使命であり、
また、大きな責任でもあります。諸先輩

第九十七号
柳井市白壁の町並みを
守る会
事務局(皿田治)
Tel. 090-1012-4204

方の情熱や努力を胸に、未
来の世代に美しい柳井の町
並みを誇り高く受け継いで
いく覚悟です。

昨年5月の重伝建全国大
会(丹波篠山)での出会いや交流は、新
たな視点と共に私たちの今後の活動の指
針をもたらしてくれました。

その中で感じた決意が、今も私たちの
原動力となっております。これを基に、柳
井の町並みをより魅力的で堅固なものへ
と進化させるため、一丸となって努力し
て参ります。小さくとも柳井らしい強い
町並みを築くために、地域の結束が不可
欠です。地元の風土や文化を大切にし、
それを守りながらも新しいアイデアと
技術を取り入れ、時代の要請に応えてい
く決意です。

今年 は デンケン
(重要伝統的建造物群保存地区)
選定 周年
柳井市白壁の町並みを守る会

また、近年一段とスポットライトが当
たっている「金魚ちゃん」は、柳井
の町並みを象徴する存在です。これまで
の歴史を紐解き、共に歩み、地域との深
い結びつきを強調し続けています。金魚
ちゃん縁で5年前より交流をさせ
ていただいております弘前市の皆様との
絆を更に深め、まちの魅力を引き立て合
い、地域社会全体が誇りを持てる場所に
していくことが目標です。

結びに、先日令和6年能登半島地震
を教訓とし、災害に備えた対応を強化す
ることも急務です。近い将来発生すると
言われている南海トラフ地震に対して地
域全体で協力し、住民の安全を確保しつ
つ、柳井の町並みを守り抜くための備え
を進めていく必要を痛感しました。まず
は今迄以上にお互いのことに関心を持
ち、コミュニケーションを強固なものとなるよ
うお力をお貸し頂きたく存じます。新た
な年が、柳井の町並みを更なる繁栄へと
導く素晴らしい年でありますよう、心よ
りお祈り申し上げます。引き続き、ご支
援とご協力を賜りますようお願い申し上
げます。

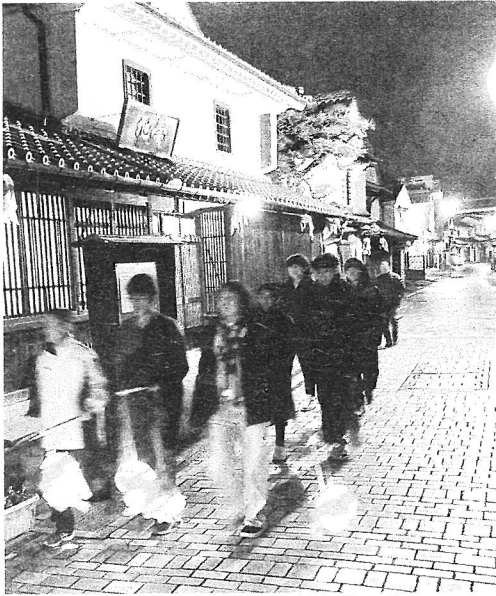
恒例の年末夜回り実施

事務局長 皿田 治

今回で二十五回目となる白壁の町の伝統行事。本陣は昨年通り尾林家の白壁の土蔵。

調べてみると第一回目は一九九九年でその時は年末の三日間一日あたり三回の出動で計九回行っていたのだ。

この頃は地域住民の平均年齢もまだまだ若く僕は最若年に近かったが今や最高齢の一人となり唯一の皆勤賞対象者となってしまった。当日の気付きメモによると陣中見舞いとして清酒一升



白壁通りを夜回りする柳中生



一日目の出陣式

瓶二十四本が寄贈された他、主婦たちの手作りおでんが用意され大盛況であった。二日目の深夜十二時には路上に寝ていた酔っ払いを発見し警察に引き渡す活躍があったことなどを懐かしく思い出した。コロナ禍以降出動日及び一日あたりの出動回数をそれぞれ三回から二回に減らし今日に至っている。

コロナ禍以降出動日及び一日あたりの出動回数をそれぞれ三回から二回に

減らし今日に至っている。

一日目の12月28日は大人7名、中学生15名、報道機関3名の計25名、二日目は大人6名、子供14名計20名が参加。両日とも午後8時及び9時に古市及び金屋の二コースに分かれて見回りを実施。

木阪会長の挨拶、見回りコースの説明、見回りの際に発する掛け声の指導に引き続き白壁通りにおいて恒例となっている出陣式を敢行「いいね、いいね、やないね。えい・えい・おー えい・えい・おー」と気合の入った掛け声が鳴り響き、LEDで電飾された金魚ちようちんと拍子木が年末の白壁通りを渡って行くのであった。昨年に引き続き柳井中学の高木校長も参加され当夜の夜回り防火防犯活動にご理解とご協力をいただいたことは有難かった。

中学生ボランティアたちは最初はおらずと戸惑っていたようであるが、だんだんと慣れてきて「マッチ一本、十本、百本、千本火のよ〜じゅん!」など定型文句のアレンジバージョンを大声で種々繰り出して盛り上りを見せていた。



二日目の出陣式

宝来橋たもとにある火伏地蔵の前では
 武居幹事から中学生に対して一七五〇年
 代から建っている愛宕大権現地蔵の解説
 授業があり全員で「火伏地蔵さん、火の
 守りありがとうございます。火のよ〜じ
 ん!」と大合唱の声が鳴り響き年末の
 恒例行事を無事終えることが出来たので
 あった。

新店紹介
かみゆい処 縁乃木

柳井市白壁の町並みの一角にある、
 かみゆい処 縁乃木(えんのき)です。
 楽しいご縁で繋がり、わくわくするも
 の作りを通して自然と人が集う場所。
 をテーマに二〇二三年9月から月に数
 回イベントを企画しています。

竹ひごからつくる竹かごワーク

ショップや日積で作られた生の米糶を
 使った味噌づくり、発酵に関するワー
 クショップ等をしています。詳細は
 Instagram「kamiyui_enoki」で発信
 しているので、覗いてみてください♪

また、ミサをり織りのストールや
 服、雑貨・小物を販売される「BARBARIS
 COLLECTION」さんが毎月第一木曜日
 の11時、14時にopenしています。ぜひ、
 遊びに来てみて下さい!

また、かみゆい処のスペースレンタ
 ルもしています。ショップとしてや、
 イベント、会合、お誕生日会などに
 うぞ。



レンタル料金：9時〜12時(または3
 時間)二千円、12時〜17時(または5
 時間)二千五百円、
 1日(または8時間)四千元。

問合せ先：080-3896-1720 (担当：堂本)

柳井の地図絵図

岸田稔明

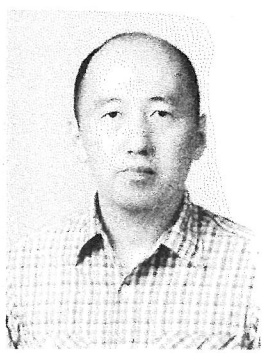
第四十回 私設上水道敷申請一件(柳井)

附属図面(山口県文書館蔵)

今回から複数回にわたり、柳井の上水道敷設について取り上げる。

明治三十(一八九七)年に、山陽鉄道(現在の山陽本線)が開通し、柳井津駅(現在の柳井駅)が開業した。同時に柳井機関庫(後の柳井機関区)が設置され、大量の給水が必要としたが、干拓地であったため、水の確保に苦労した。最初は伊保庄二反田(東田布路木)のわき水を鉄管で送水し、後に一里木(北町)の水をくみ上げて送水したが、水質が良くなく、水量も不足していた。

また、古開作、中開作など、干拓地に立地する市街地では、井戸を掘っても塩分を含んで飲料に適さないため、居住者は山根、千歳、瑞相寺などの井戸へ水を汲みに行っていた。

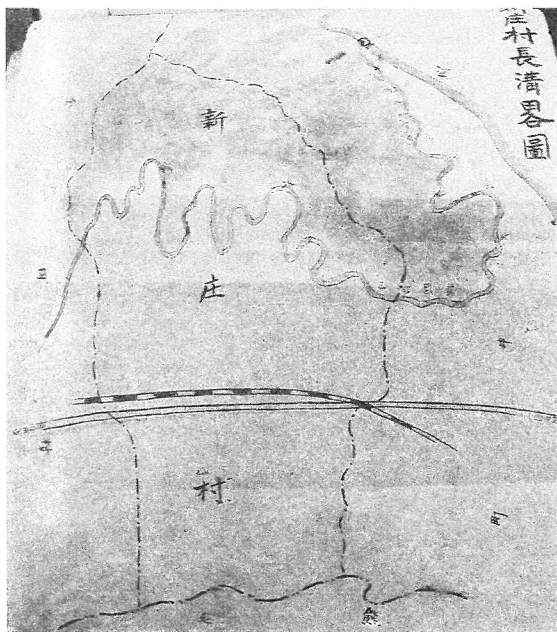


大正五(一九一六)年に柳井町でコレラが流行し、多数の死者が発生したことをきっかけに、

上水道敷設の機運が高まり、敷設に向けた調査が始まった。一方、各地域では、簡易水道組合の設立などにより、琴石山の山麓のわき水や、姫田川上流や佐川醤油醸造場などの井戸から各家庭へ送水していたが、水圧など設備が十分でなかった。

そこで、大正十四(一九二五)年四月に、黒杭川上流を水源とする「私設上水道(代表者上本政吉)」の敷設許可申請が県知事あて提出された。その申請を含む一連の文書が、『私設上水道敷申請一件(柳井)』として山口県文書館に保存されている。

敷設許可申請に対し、水利権のある各地区から、灌漑用水確保のため、強い反対の声が上がった。新庄村(当時)では、同年六月二日、新庄村民大会が開催された。保



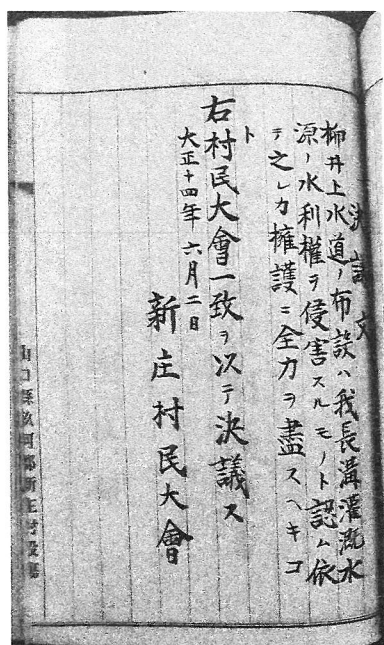
【新庄村長溝略図(私設上水道敷申請一件(柳井)附属図面)(山口県文書館蔵)】

存されている決議文には、「柳井上水道ノ布設ハ我長溝灌漑水源ノ水利権ヲ侵害スルモノト認ム依テ之レカ擁護ニ全力ヲ盡スヘキコト 右村民大会一致ヲ以テ決議ス」とある。この決議文に附属するのが、『新庄村長溝略図』である。岩政次郎右衛門の尽力により元禄二(一六八九)年に完成した新庄の長溝は、黒杭川上流を水源としている。村民大会において読み上げられた声明書は、上水道そのものに反対していないが、水源を黒杭川に求めることは、既得水利権を侵害するといふものであった。

後に、灌漑用水には法的にも水利権があるといふことで、私設上水道の申請は却下された。

昭和に入り、町営上水道の敷設が計画されたが、各地区から反対の陳情が出されている。いずれも、水利権の問題や、町営にすることによる財政圧迫を理由としている。敷設計画は困難を極め、進展しなかった。

【新庄村民大会決議文(私設上水道敷申請一件(柳井)附属文書)(山口県文書館蔵)】



柳井上水道ノ布設ハ我長溝灌漑水源ノ水利権ヲ侵害スルモノト認ム依テ之レカ擁護ニ全力ヲ盡スヘキコト 右村民大会一致ヲ以テ決議ス
大正十四年六月二日
新庄村民大会

商都柳井の歴史 その廿四

松島 幸夫

柳井津商人の心(五)

心得違いの人物に対して

みなさんは信、心深いので、不動明王をよくご存知のことと思います。右手に剣を持ち、左手には羅索(けんさく)と呼ばれる縄を持っています。剣で切りつけ、縄で縛りあげて勝手なことをさせません。怖そうな目をゴヨロリと見開らき、口からは牙がむき出しになっています。暴力をもってねじ伏せる形相です。

人を救うべき仏なのになぜ、荒々しく暴力的なのでしょうか。不動明王は独立する仏ではなく、大日如来の化身です。大日如来と不動明王は表と裏の関係をなしており、両者で一体なのです。大日如来は太陽のように世を明るく照らしますが、その恩に逆らって悪事を働く人間がいます。悪事を極める人間に対して、不動明王が容赦なく捕縛し罰を与えるのです。



さて柳井津商人の心得に話を戻しましょう。

前回は亀岡通りで金物屋を営んでいた宮本家の家訓を紹介しました。質素な生活をする、商売は薄利多売に徹することなどが書かれていました。その家訓を守ればいいのですが、守らない人間が出た場合にはどうするのでしょうか。江戸時代に守れなかった場合の方策が示された家訓があるので紹介しましょう。亀岡通りにおいて「小松屋」の屋号で商売をしていた老舗・神田家の3代目清三郎が子孫に示した遺言です。その遺言を4代目の幸七が「月誉勝円様遺訓」としてまとめました。

藩主からの命令は、謹んで守ること。父母に孝行すること。兄弟は仲良くすること。先祖を尊ぶこと。

末家(のれん分けして分立した家)は本家(神田家)を敬い、本家は末家をあわれむこと。質素儉約を守り、かりにも華美に流れてはいけない。

などの箇条を並べた後で、守れなかった場合の打開策を示しています。

兄弟や子孫に心得違いがあった場合には、周囲の者たちが教え諭してやること。

もしも不当な行いが直らない場合には、みんなで相談し、押し掛けて強引に懲らしめるか、あるいは勘当(かんどう)・縁を切つて家から追い出す)すること。

もしそれが本家の主人であった場合には、一人分の食糧費を与えて隔離し、新たに家督(店の主人)を選出すること。

家督を相続した直系の人が幼少の場合には、本家や末家から後見人を立てて、幼い家

督相続人を守り育て、血筋が続くことを第一に心掛けること。

付記

この際に親戚筋から異論が出されたとしても、当小松屋においては、勝円様の御遺訓によつて取り計らうこと。

「月誉勝円様遺訓」が最初に示された時に、本家や末家の当主みんなが代々にわたつて御遺訓を遵守すると誓ったのだから、異論を唱えてはいけません。

不良行為が直らない時には勘当したり、監禁したりするので、なんと厳しい掟です。不動明王が剣をかざしたり、羅索で縛つたりするのは同じです。もつともこれだけの遺訓があれば、絶対に心得違いをする子孫は出てきません。3代目・神田清三郎こと月誉勝円様の思慮には敬服させられます。

また寛政二年(一七九〇年)に4代目の神田幸七盛弘氏が父の遺訓をまとめ、本家と末家の当主を全員集めて、誓詞署名(文章に同意した者が花押を記す)をさせたことにも敬意に値します。誓詞の末尾には「勝円様の御遺言の趣、謹んで承知致しました。永世忘却することなく必ず遵守いたします」とあります。

遺訓が功を奏した神田家は、明治以降の近代化にあつても、種々の事業に乗り出して成功を収めています。酢の醸造、金融業、米や塩の取引、ガス会社経営などです。

さらには会社経営に精を出す傍ら、文化にも造詣を深かめて、文芸や郷土史研究に功績がありました。

資料館便り

『今年の松島詩子の名曲を歌う会』

3月17日・花香遊の日

副会長 山近 絹代

「松島詩子の名曲を歌う会」を平成二十三年に第一回を開催して以来、毎年マロ二エの花の咲くころにと、四月末か五月初めに行っていました。今年も三月十七日の花香遊のイベントの一つとして開催することとなりました。

町並みかわら版第九五号に「歌う会」の始まった経緯を書いています。松島詩子さんのことを多くの人に知って欲しい！との思いだけでは開催は難しくなり、市の助成なくしては開けないのが実情です。今まで市の全面協力で十回続けることが出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。

市の状況を鑑みて、少しでも負担を軽減できるようにと木阪会長の考えで、今年も「花香遊」の日に開催することになりました。この日だとボランティアさん

手が借りられることで人手も軽減できます。

ちょうど「おひな様巡り」の期間中でもある町並み資料館にもおひな様が飾つてあるため、収容人数が減少する事に配慮して、午前十一時から午後一時三十分からの二回の公演をすることになりました。

歌手の谷本耕治さん、伴奏の方々に事情を説明し、快諾いただけただけなので、今まで通り楽しい会になると思います。司会役の私も今まで通り頑張りますよ。

マロ二エの花の咲いている中で開催できないのは少し残念ですが、今まで応援いただいた皆さん、ファンの皆さんが楽しめるような会になるよう頑張るので引き続き、応援よろしくお願いします。



歌手の谷本耕治さん

【編集後記】

★いや～年明け早々びっくりしたのなんの。元旦の夕方能登半島に震度7の地震が襲い大被害が発生。被災地の皆さんには心よりお見舞い申し上げます。我々の住んでいる白壁通りのすぐ脇を流れる柳井川はかつて海岸線だったことを忘れてはいけません。ひとたび地震・津波が発生すれば大きな被害が発生する危険があります。ここ数年毎年行っている地震津波避難訓練には必ず参加して万一の災害に備えましょう。

★年末の夜回りには多くの中学生ボランティアが参加。若いっていいですね～。とにかく歩くのが早くともついていけない。それに音頭を取る女学生の声がかいがかいのが頼もしく微笑ましかった。

★かみゆい処 縁乃木さんようこそ白壁通りに。様々なワークショップやイベントを企画されているとのこと。この町がもっともっと楽しく元気になって行くよう新しい風を吹かせて下さい。期待しています。

(事務局 皿田)

令和5年度第3四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和5年/7月～9月	令和5年9月現在累計
町並み資料館	4,511	320,816
	前年同期比 165%	
松島詩子記念館	963	113,898
	前年同期比 138%	